

## (2) 大学院(工学研究科・自然科学研究科)の沿革

昭和	40. 4	大学院工学研究科を新設(土木工学専攻、建築学専攻、資源開発工学専攻、金属工学専攻、機械工学専攻、生産機械工学専攻、電気工学専攻、工業化学専攻の8専攻)
	42. 4	電子工学専攻を設置
	44. 4	合成化学専攻を設置
	53. 4	環境建設工学専攻を設置
	58. 4	情報工学専攻を設置
	61. 4	生産科学専攻(後期3年博士課程)を設置
	63. 4	自然科学研究科(後期3年博士課程)を設置(生産科学専攻(工学研究科生産科学専攻を移行)、環境科学専攻(理学研究科環境科学専攻を移行)、システム科学専攻の3専攻)
平成	2. 4	電気工学専攻・電子工学専攻・情報工学専攻を電気情報工学専攻へ、工業化学専攻・合成化学専攻を応用科学専攻へ改組
	3. 4	資源開発工学専攻・金属工学専攻を材料開発工学専攻へ、生産機械工学専攻・機械工学専攻を機械工学専攻へ改組
	4. 4	土木工学専攻・建築学専攻・環境建設工学専攻を土木環境工学専攻および建築学専攻へ改組
	10. 3	工学研究科を廃止
	10. 4	自然科学研究博士前期課程を設置(物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻)自然科学研究科博士後期課程に物質・生命科学専攻を設置
	11. 4	自然科学研究科博士後期課程の生産科学専攻・システム科学専攻を生産システム科学専攻およびシステム情報科学専攻へ改組
	12. 4	自然科学研究科博士後期課程の環境科学専攻を環境共生科学専攻へ改組
	18. 4	大学院自然科学研究科重点化・一元化の改組(前期課程として理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻の8専攻、後期課程として理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻の5専攻に再編)、大学院自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター設置
	20. 4	寄附講座(電力フロンティア講座)設置
	22. 4	数学専攻(前期2年博士課程)設置
	24.12	大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター 設置